

2017年
第55回
キャラクター賞
大賞

2018年
第38回
「地方の時代」読者賞
優秀賞

愛国教育と



知ってほしい
教科書で“いま”何が起きているのかを――

監督 川崎尚代 語り 井浦新 プロデューサー 藤田雄三 監修 藤田雄三 監製 藤田雄三 制作 藤田雄三 制作 藤田雄三 制作 藤田雄三

日時 2022年10月11日 火
19:00~20:40 (18:30開場)

会場 大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F

参加費 一般=500円
学生、大竹財団会員=無料
定員20名【要予約】

主催 一般財団法人
大竹財団



Web予約
PC・モバイル共通
<https://bit.ly/3B3TH6S>



ひとりの記者が見続けた“教育現場”に迫る危機

いま、政治と教育の距離がどんどん近くなっている。軍国主義へと流れた戦前の反省から、戦後の教育は政治と常に一線を画してきたが、昨今この流れは大きく変わりつつある。2006年に第一次安倍政権下で教育基本法が改定され、「愛国心」条項が戦後初めて盛り込まれた。2014年。その基準が見直されて以降、「教育改革」「教育再生」の名の下、目に見えない力を増していく教科書検定制度。政治介入ともいえる状況の中で繰り返される出版社と執筆者の攻防はいま現在も続く。

本作は、歴史の記述をきっかけに倒産に追い込まれた大手教科書出版社の元編集者や、保守系の政治家が薦める教科書の執筆者などへのインタビュー、新しく採用が始まった教科書を使う学校や、慰安婦問題など加害の歴史を教える教師・研究する大学教授へのバッシング、さらには日本学術会議任命拒否問題など、大阪・毎日放送 (MBS) で20年以上にわたって教育現場取材してきた齊加尚代ディレクターが、「教育と政治」の関係を見つめながら最新の教育事情を記録した。教科書は、教育はといった誰のものなのか……。



2017年度ギャラクシー賞・大賞を受賞した話題作が、最新取材を加えついに映画化!

2017年にMBSで放送された番組『映像‘17 教育と愛国～教科書でいま何が起きているのか』は、放送直後から大きな話題を呼び、その年のギャラクシー賞テレビ部門大賞、「地方の時代」映像祭では優秀賞を受賞した。2019年に番組内容と取材ノートをまとめ書籍化(岩波書店刊)。2020年には座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバルで上映もされた。これだけ長く注目され続けるのは、多

くの人のため教科書問題が身近であり、またこれからの社会を考えるうえで「教育と政治」の関係が重要であるという証左ではないだろうか。映画化にあたっては、いくつかの壁にぶち当たりながらも追加取材と再構成を敢行し、語りには俳優・井浦新が担当した。いまあらたに誕生した映画版『教育と愛国』がいよいよ劇場公開となる。

上映会のご予約・お問い合わせ

一般財団法人 大竹財団

📍 東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階
JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分(八重洲地下街24番出口右階段すぐ)、
東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分
🌐 <https://ohdake-foundation.org> ☎️ 03-3272-3900



Google
マップ
QRコード

スマートフォンのQRコードアプリで読み取ると、現在地から会場までのアクセス方法が検索できます

